

【開催報告】なんでこんなに大変なの?! 日本の子育て・介護のゆくえ

平成28年10月22日(土曜日)午後2時からアビスタ・ホールで、あびこ女性会議との共催講演会を開催しました(参加者38人)。講師は実践女子大学人間社会学部准教授の山根純佳(やまねすみか)さん。



講演はまず、日本の現状から始まりました。



いっこうに減らない待機児童。保育所が決まらず、母親が復職を断念するケースが後をたちません。年10万人という介護離職者の中には介護保険制度を利用しないまま離職する人もいるのだとか。

さらに育児と介護の両方を同時に担うダブルケアに直面している人が約25万人との推計もあります。

家族によるケアは「労働」ではなく「責任」とされ基本的に無償。その多くを女性が担ってきました。背景には近代社会以降の家族観があります。すなわち男は稼ぎ手、女性は家事・育児という性別役割分業の考え方。

この考え方は働く女性が多くなった今も根強く、男性の過労死や女性の貧困といった新たな社会問題も生まれています。なんでこんなに大変なのでしょう。どこの国も同じなのでしょう。



「高福祉国家といわれるスウェーデンでも性別役割分業の時代がありました」と山根さん。しかし「男性の解放なくして女性の解放はない」と「二重の解放」により方向転換。男性は賃労働からの解放で育児休業を。女性は家事・育児からの解放で就業機会を。



山根さんは「男女平等というと女性を男性化させるのではと揶揄する向きもありますが、男性にとっても大切なこと」と言います。

オランダでは1982年、「パートタイム経済」といういわゆるオランダ・モデルがスタートしました。一人当たりの労働時間を短縮し増える失業者の雇用を創出するというもの。管理職にもパートタイム労働者が約2割。

短時間労働でも待遇差別しない決まりで、ライフステージに合わせて働き方が選べるので、3歳未満の子がいる母親でも約7割の就業率とか。



各国の事例の合間に、山根さんの友人が北欧を旅行した際に撮影したという写真が紹介されました。公園や街角でベビーカーを押すのは全て男性という風景。多くの参加者から印象的だったとの声がありました。

「日本も男性稼ぎ手型から両立支援型への転換を」と山根さんは締めくくりました。



会場後方で講師の著作などを展示

講演後の質疑応答では、実際にダブルケアを抱えづらい経験したという参加者も。「ダブルケアを担う人の“心のケア”も大切。ワンストップで相談できる窓口があるといいですね」と山根さんは答えていました。

講師プロフィール：山根 純佳さん

実践女子大学人間社会学部准教授。1976年神奈川県横浜市生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士（社会学）。著書に『産む産まないは女の権利か—フェミニズムとリベラリズム』（勁草書房、2004年）、『なぜ女性はケア労働するのか—性別分業の再生産を超えて』（勁草書房、2010年）

⇒次ページ以降にチラシとポスターあり



なんてこんな大変なの?!



無料
要申込
先着100人
託児あり

日本の子育て 介護のゆくえ

講師

山根純佳さん

(実践女子大学人間社会学部准教授)

待機児童、孤独な子育て、介護離職、
育児と介護のダブルケア…
誰もが抱えるケアへの不安や負担は、
社会のあり方次第で変わってきます。
海外との比較から日本の福祉・労働
政策の問題点を考えます。



10月22日(土)14:00~16:00(13:30開場)

場所: アビスタ・ホール 我孫子市生涯学習センター「アビスタ」1階
我孫子市若松26-4 我孫子駅南口徒歩10分

申し込みは「氏名、人数、連絡先」を電話・ファクス・ちば電子申請サービスで

託児(2歳以上就学前)は無料、要事前申込。10月14日(金)まで受け付け

あびこ女性会議 TEL&FAX: 04-7183-2789 (濱田)

我孫子市秘書広報課男女共同参画室

TEL: 04-7185-1752 FAX: 04-7185-1520

ちば電子申請サービス⇒



主催
あびこ女性会議
我孫子市

なんでこんなに大変なの?!

日本の子育て 介護のゆくえ

無料
要申込
先着100人
託児あり

10月22日(土)
14:00~16:00(13:30開場)

場所 アビスタ・ホール

やまねすみか

講師 山根純佳さん(実践女子大学人間社会学部准教授)

待機児童、孤独な子育て、介護離職、育児と介護のダブルケア…
誰もが抱えるケアへの不安や負担は、社会のあり方次第で変わってきます。
海外との比較から日本の福祉・労働政策の問題点を考えます。

申込方法など
詳細は裏面へ

主催
あびこ女性会議
我孫子市

我孫子市は千葉県で唯一の男女共同参画宣言都市です

ファクス 04-7183-2789 あびこ女性会議 濱田
 または 04-7185-1520 我孫子市役所男女共同参画室

10月22日(土) 14時開演
 なんでこんなに大変なの?!
 日本の子育て・介護のゆくえ

参加申込書

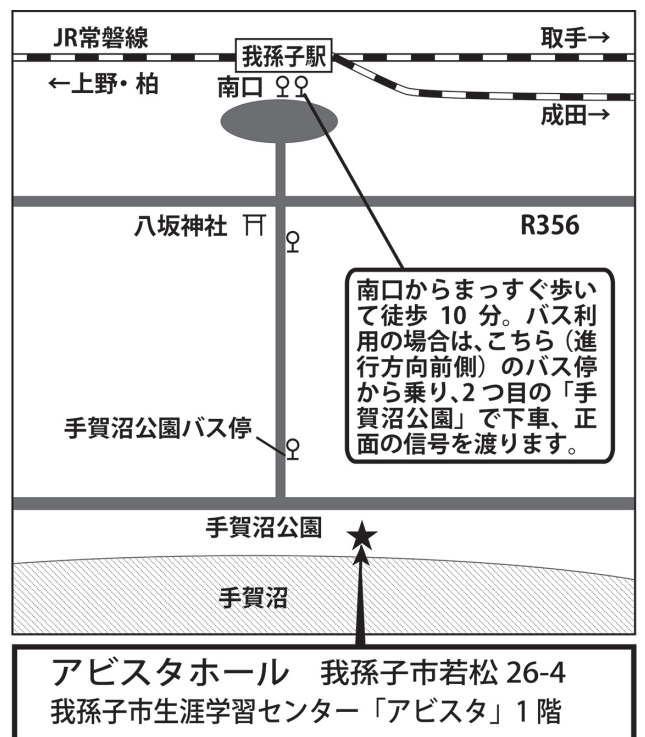
講師 ^{やまねすみか} 山根純佳さんプロフィール
 実践女子大学人間社会学部准教授
 1976年神奈川県横浜市生まれ。東京大学大学院人文社会科学系研究科博士課程終了。博士(社会学)。著書に『産む産まないは女の権利かーフェミニズムとリベラリズム』(勁草書房、2004年)、『なぜ女性はケア労働をするのかー性別分業の再生産を超えて』(勁草書房、2010年)

ふりがな お名前 (連名可)	
連絡先	事前連絡が必要になった場合にのみ使用します。代表者の方の電話番号かメールアドレスのうち、いずれか一つご記入ください。
託児申込 10/14(金) 締切	2歳から就学前までのお子さんを無料でお預かりします。 お子さんそれぞれの年齢(○才○か月まで)と性別をご記入ください。 当日、おもちゃ、食べ物、飲み物等には必ずお名前を付けてご持参ください。 ・ 歳 か月 (女・男) ・ 歳 か月 (女・男) <p style="text-align: right;">以上 名</p>

- ご記入いただいた個人情報是我孫子市個人情報保護条例に基づき適正に管理し、講演会運営上の連絡以外には使用しません。受付票等の返信はしませんので、当日会場にお越しください。定員に達しご参加いただけない場合のみご連絡します。
- 電話または、インターネットでも受け付けています。
 あびこ女性会議(濱田) TEL:04-7183-2789
 我孫子市男女共同参画室 TEL:04-7185-1752(直通)



従来型携帯電話
 スマートフォン
 →



パソコンの方はホームページから
[我孫子市男女共同参画講演会](#) 検索 🔍